ねんきんネットとは？

「ねんきんネット」は、お客様がインターネットを通じて、24時間いつでもどこでも、パソコンやスマートフォンからご自身の年金の情報を手軽に確認できるサービスです。

年金受給者のかたも各種通知の内容確認や印刷が可能です。

この「ねんきんネット」を利用するには、ご利用登録（ユーザIDの取得）が必要となります。登録の際には、基礎年金番号やメールアドレスが必要となりますので、登録時にお手元に年金手帳や年金証書など、基礎年金番号が確認できるものをご用意のうえ登録申請を行って下さい。

◇「ねんきんネット」でできること
- ご自身の年金記録の確認
- 将来の年金見込額の確認
- 電子版「ねんきん定期便」の閲覧
- 日本年金機構が郵送している年金に関する通知書の内容の確認
- 通知書（PDFファイル）の保存、印刷

ねんきん定期便・ねんきんネット専用ダイヤル
0570-058-555（ナビダイヤル）
03-6700-1144（ＩＰ電話からかけるとき）

問合せ　太田年金事務所　49－3716

本当にお得？注文確定の前にしっかり確認！

【事例】

通常約６千円のシャンプーが初回５００円で購入できるとのネット広告に惹かれ、クレジットカード決済で注文した。

再度購入しようと思い、同じ商品の注文画面を見ていると、注文確定前の画面に小さな文字で「５回継続購入が条件」との記載があることに気付いた。その記載事項は、画面をスクロールしなければ表示されないため、初回購入時にはまったく気付かなかった。

その後、事業者に解約したいと伝えたが「５回継続購入の条件は明記されている」と言われ断られてしまった。
（60歳代 男性）

【ひとこと助言】

ネット通販の注文画面では「初回限定」など、お得感を強調した表示とは逆に、購入条件などは小さく表示されていたり、気付きにくい場所に表示されていたり、分かりづらいことがあります。

定期購入が条件とされる場合は、注文を確定する前に、その期間や回数、支払うことになる総額など契約内容をしっかり確認してから自身にとって本当にお得かどうかを判断しましょう。

特定商取引法が改正され、事業者は最終確認画面で、注文内容を明確に表示しなければならなくなりました。誤認させる表示により消費者が申込みをした場合は、契約を取り消せる可能性があります。

困ったときは、すぐに消費生活センターにご相談ください。

相談は消費生活センターまで　82－7830（ナヤミナシ）

休日当番医

期日	内科系		外科系	耳鼻科
9月4日（日）	館林記念病院 72－3155	たけい小児科・アレルギー科※ 76－2525	ふじの木整形・内科クリニック 91－4070	川村耳鼻咽喉科医院 72－1337
9月11日（日）	みづほクリニック 20－1122	堀越医院 73－4151	館林市夜間急病診療所 73－2313	－
9月18日（日）	田沼内科医院 88－7522	横田医院 72－0255	しんじょう整形外科クリニック 55－3623	板倉耳鼻咽喉科クリニック 80－4333
9月19日（祝）	湯沢医院 62－2209	小児科おぎわらクリニック※ 61－1133	富士クリニック ペインクリニック 20－1971	－
9月23日（祝）	まりレディスクリニック 76－7775	阿部医院 62－5428	慶友整形外科病院 49－9000	－
9月25日（日）	新井内科クリニック 20－1220	明和赤ちゃんこどもクリニック※ 84－1166	明和セントラル病院 84－1234	－
10月2日（日）	ごが内科楡クリニック 73－7587	星野こどもクリニック※ 70－7200	岡田整形外科クリニック 72－3163	川田耳鼻咽喉科医院 72－3314
10月9日（日）	いたくら内科クリニック 70－4080	多々良診療所 72－3060	川島脳神経外科医院 75－5511	－

歯科
館林邑楽歯科保健医療センター
73－8818
午前9時～正午

◆緊急　公立館林厚生病院　72－3140（内科系・外科系）
◆コロナに関すること　群馬県受診・相談センター
0570－082－820（24時間受付）

●診療時間は、午前9時～午後5時（ただし、耳鼻科の診療時間は、午前9時～午後1時）　●内科系の※は、小児科のみとなります。
●受診前に必ず医療機関に電話で確認してください。　●救急テレホンサービス　73－5699：受診可能な病院を紹介しています。

Face フェイス

地域の盛り上がりのためにも早いコロナの収束を願う

一体感や高揚感に魅了され

針ヶ谷朝巳さん

はりがや　あさみ
大字海老瀬在住

瓦職人。趣味はゴルフ。現在板倉消防団第４分団長として地域に多大な貢献をしています。

各地でみこしを担ぎに遠征

暑い夏、あふれる人波、飛び散る汗と人々の笑顔。思えば、熱気あふれる勇壮なかけ声から遠ざかってから、だいぶ時間がたちました。

みこしの上で威勢よく音頭を取る針ヶ谷さんは、邑楽館林を中心に約50人が所属する館林神輿（みこし）連合「櫻（さくら）会」の板倉支部長を務めています。コロナ前の櫻会の活動は、東京や長野の善光寺にも遠征するなど、季節を問わず年間10回ほども各地の祭りに参加していたとのことです。

みこしの魅力

20年ほど前に地元の後輩からみこしに誘われ、最初は気軽に始めました。しかし、そのかっこよさや一体感、高揚感にあっという間に魅了されたそうです。

「６００kgもあるみこしは、皆の息と力が合わなければうまく上がりません。ずっしりとした重さを全身に感じながら、力がみなぎり、みこしが持ち上がった瞬間、なんともいえない快感が全身に走ります」と、針ヶ谷さんは笑顔で話してくれます。

信頼される人柄

針ヶ谷さんは、板倉消防団第４分団長として、地元に大きく貢献しているなど、多くの人に信頼されています。普段は瓦職人として、町内の会社に勤務しているそうです。「じりじりと焼け付くような屋根の上に比べたら、猛暑の中のみこしだってへっちゃらです。滝のような汗をかき、その後に待っている、ひんやりとした一杯はまさに至福です」と楽しみの１つを教えてくれました。

コロナの収束を願って

各地の祭りが中止されるようになって３年。地域を盛り上げるためのイベントが下火になっている今、みこしの会員が減るのではと心配する場面もありましたが、早くコロナ禍が収束し、針ヶ谷さんの勇ましい姿と、祭りを楽しむ人々の笑顔が見られることを願ってやみません。

レポーター
広報編集委員
栗原友孝（くりはらともたか）